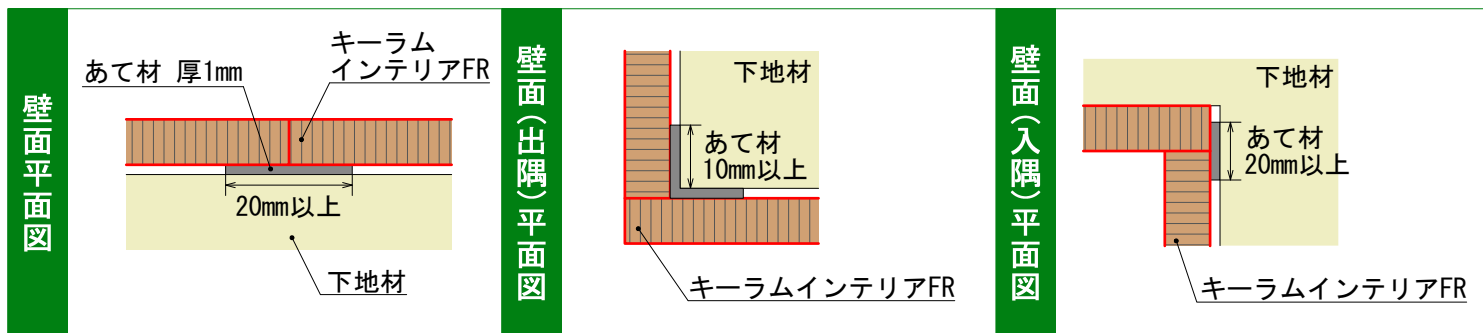


KEYLAM Interior FR (キーラムインテリア準不燃) 施工要領書 QM-0821 (3)

■ 納まり図例



■ 材料特性

1 キーラムインテリアFRの寸法および重量

LVLに難燃薬剤を注入した後、乾燥させているため、断面寸法と長さ方向の精度は多少ばらつきが出る場合があります。厚15mm×幅150mm×長4000mm材の場合、難燃薬剤注入したLVLの乾燥後の重量は約5.4kgになります。

2 製品の保管・管理

温度・湿度の変化によって材料に反りや変形が発生する可能性があります。雨に濡らすことはもちろん、湿度の高いところ、梅雨時の保管場所には注意してください。

3 塗装における注意点

片面のみの塗装は反りや狂いの原因になりますので、両面塗装してから取り付けてください。また、塗装品を現場で切断して使用する場合は、材料の反り・狂いが生じる場合がありますので、切断面も塗装してください。

■ 基準施工方法

1 下地の確認・下地処理

本製品の加工が可能かどうか確認してください。

施工可能な下地	施工に適さない下地
石膏ボード けい酸カルシウム版 ラワン合板	モルタル壁面、RC壁面への直貼り ALC躯体への直貼り 塗装面、クロス面、その他化粧面

- ① 十分な接着が得られない可能性がある場合は、事前に下地材にプライマー材を全面塗布することをお勧めします。
- ② 下地材に不陸やビス・釘などが出ないか確認してください。
- ③ 下地材に付着しているホコリなどはできるだけダスター刷毛などで、取り除いてください。
- ④ 下地材が湿気を帯びていたり、不陸やホコリがあると十分な接着力が得られない場合があります。

2 割り付け

貼付け前に墨出しをして、必ずキーラムインテリアFR・底目地あて材の貼付け位置を決めてください。あて材とキーラムインテリアFRは、必ず目地から10mm以上かぶるように施工してください。

3 カット・加工

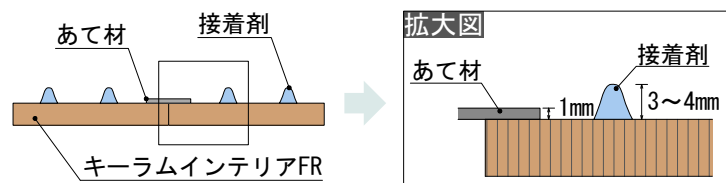
本製品を切断する場合は、当て木を用いて必ず刃物を表面側から入れて裏面側から出るようにしてください。カット面はサンドペーパー等に当て木に添え、バリ取り

をしてください。穴あけ・切り欠きは、クラックの恐れがあるので、φ12mm以上のドリルでコーナー部に穴をあけ慎重に行ってください。

4 接着剤塗布

■ 接着剤の塗布量

※接着剤は、変成シリコン樹脂系又はウレタン系を推奨します。(コニシ(株)製のボンドMPX-1、ボンドウレタンコーク等)



5 底目地あて材付け

キーラムインテリアFRのジョイント部分となる場所へあて材を付けてください。あて材は、接着剤やビスなどで付けてください。

6 貼付け・圧着

圧着前に下地材の不陸やあて材との接着性をご確認ください。

7 ピンネイル打ち

ピンネイルを使用する場合、径0.6mm以上(MAX製、若井産業製等)のものを使ってください。

※**注意事項** 表面塗装を行う場合、塗料にはアクリル・ウレタン系樹脂塗料もしくはウレタン系樹脂塗料もしくはアクリル系樹脂塗料を使用してください。水性塗料は、白華現象やしみの原因になりますので絶対に使わないでください。

※弊社推奨塗料の例

- ・セーフティーワルツ ニューレスキューコート (大谷塗料株式会社製)
担当者: 大谷塗料 東京支店 稲田 様/ TEL: 042-974-3191/ email: tokyo@otanipaint.com
- ・ピュアサンディングシーラーとピュアフラット(玄々化学工業株式会社製)
担当者: 玄々化学工業 東京営業所 平手 様/ TEL: 0567-28-9207/ email: hirate@gen2.co.jp